

令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	国語・現代文A	2単位	対象学年・組	4学年・AB組
教科書	高等学校改訂版新編現代文A(第一学習社)	教科担任	池田	

1. 目標 さまざまなジャンルの作品を知り、人生に役立つ国語力を、必要に応じて身につける。
2. 学習の到達目標 文章の内容を的確に理解して、要点を捉える。
文章の内容を、日常生活や社会問題と関連づけ、よりよく生きるための力を身につける。

3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	24 時間	『こころ』夏目漱石 「経験の教えについて」森本哲郎	<ul style="list-style-type: none"> ・『こころ』の上を読む。小説の読解の基本事項を復習し、文章の特徴を理解したうえで、下につながる考察をしながら読む。持参した本を用いながら、プリントを解くなどして進めるため、本の用意は必須。 ・筆者の主張を捉え、話の展開を追う。 ・経験は、学び、生かすことで意味があることを知る。「自分を知ること」と「経験を生かすこと」が不即不離の関係であることを理解する。 ・『イソップ物語』の作品を読みながら、それぞれの話の教訓について考える。
2 学 期	26 時間	『こころ』夏目漱石 「コミュニケーションの文化」平田オリザ 「大量生産の眩暈」原研哉	<ul style="list-style-type: none"> ・『こころ』の上中を読む。既習事項を振り返りながら、各自の着眼点を軸にした読解を深めていく。持参した本を用いながら、プリントを解くなどして進めるため、本の用意は必須。 ・筆者の主張を捉え、話の展開を追う。 ・コミュニケーションのあり方について知り、考える。 ・これからの社会における「生産」について考える。
3 学 期	20 時間	『こころ』夏目漱石	<ul style="list-style-type: none"> ・『こころ』の下を読み、これまで読み進めてきた内容と照らし合わせながら「私(先生)」の心情を読み解く。各自の着眼点をもとにした、作品の鑑賞をする。持参した本を用いながら、プリントを解くなどして進めるため、本の用意は必須。

4. 学習者への注意

- ・ 欠席や遅刻をせず、授業に出席する。
- ・ ただ「いる」だけではなく、諸活動に主体性をもって取り組む。
- ・ 他者の話を聞くことや、自分の考えを持ち、表現することを大切にする。

5. 評価の観点・方法

- ・ 平常点(出席状況・提出物・授業態度)、定期考査によって総合的に評価する。